

PAT-NO: JP02003233699A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003233699 A
TITLE: BUSINESS TRIP MANAGEMENT METHOD, SERVER DEVICE
AND SYSTEM, AND PROGRAM
PUBN-DATE: August 22, 2003

INVENTOR-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MORIMOTO, KEIJI N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NEC SOFT LTD N/A

APPL-NO: JP2002029349
APPL-DATE: February 6, 2002

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method, a device, a system and a program for business trip management capable of grasping the expenses overall regardless of whether a business trip traveller has a behavior of advanced payment or not.

SOLUTION: When a business trip traveller accesses a business trip management server from a terminal to make a trip application containing a necessary duty information for the trip and is approved, the business trip management server sends a business trip arrangement information based on the duty information. In travel agency side, arrangement of traffic or accommodation, etc., contained in the business trip arrangement information is carried out. When

the
arrangement procedure is done, a terminal of the travel agency sends
a business
trip result information containing the expense information on each
duty
arranged to the business trip management server. At trip expense
adjustment,
when performing input of adjustment application information of the
trip
expenses, a traveller performs the adjustment application of the trip
expenses
by retrieving the business trip result information to the terminal
operated by
himself/herself from the business trip management server.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-233699

(P2003-233699A)

(43)公開日 平成15年8月22日(2003.8.22)

(51)Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号
1 6 2
1 6 6

F I
G 0 6 F 17/60

テーマコード(参考)

1 6 2 C
1 6 6

審査請求 有 請求項の数13 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願2002-29349(P2002-29349)

(22)出願日 平成14年2月6日(2002.2.6)

(71)出願人 000232092

NECソフト株式会社

東京都江東区新木場一丁目18番6号

(72)発明者 森本 敬二

東京都江東区新木場一丁目18番6号 エヌ

イーシーソフト株式会社内

(74)代理人 100080816

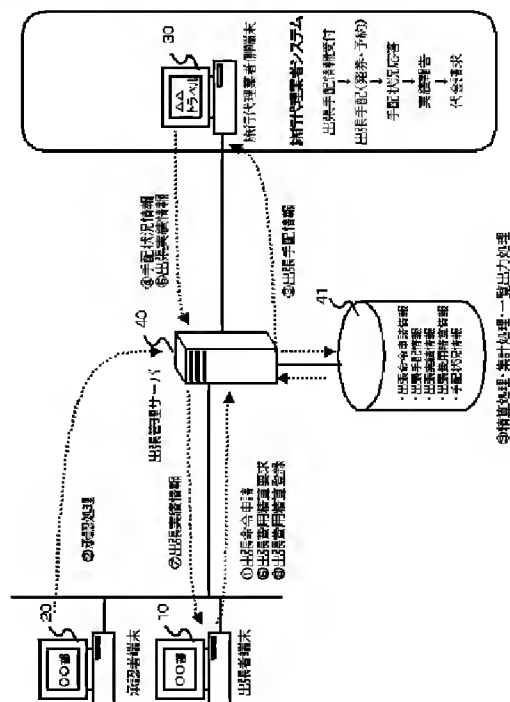
弁理士 加藤 朝道

(54)【発明の名称】 出張管理方法及びサーバ装置及びシステム並びにプログラム

(57)【要約】

【課題】業務出張において発生する費用を、出張者の立て替え行為の有無に関わらず、その全体の把握を可能とする出張管理方法及び装置及びシステム並びにプログラムを提供する。

【解決手段】出張者が端末から、出張管理サーバにアクセスして、出張に必要な役務情報を含んだ出張申請の登録を行った後、承認が行われると、出張管理サーバは、前記役務情報に基づいた出張手配情報の送信を行う。旅行代理業者側で、前記出張手配情報に含まれる交通手段や宿泊施設等の手配が行われ、手配手続が完了すると、旅行代理業者の端末は、前記手配を行った各役務についての費用情報を含んだ出張実績情報を出張管理サーバに対して送信する。出張費用の精算の場面においては、出張費用の精算申請情報の入力を行う際に、出張者は、出張管理サーバから自己の操作する端末に前記出張実績情報を取り込むことにより、出張費用の精算申請を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】業務出張を行う者が出張命令申請情報の入力と、該出張費用の精算申請情報の入力と、を行う第1の端末と、前記出張命令申請情報にアクセスして承認処理を行う第2の端末と、出張に関連する役務の手配を行う業者の第3の端末と、前記第1の端末から送られる出張命令申請情報並びに出張費用の精算申請情報と、前記第3の端末から送られる実績情報と、を記憶保持するサーバ装置と、を含んだ出張管理システムにおける出張の管理方法であって、

前記サーバ装置が、

前記第1の端末を介して、出張上必要となる役務を特定する役務情報を含む出張命令申請情報を受け付けて、前記第2の端末からアクセスできるよう記憶保持するステップと、

前記第2の端末から出張命令申請の承認処理が行われた場合には、前記出張命令申請情報から、前記役務情報を抽出して、出張手配情報として、前記第3の端末に対して送信するステップと、

前記第3の端末が、

前記サーバ装置に対して、少なくとも手配を行った役務の費用情報を含む、出張の実績情報を送信するステップと、

前記サーバ装置が、

前記出張の実績情報を記憶保持して、前記第1の端末を介して、出張者から出張費用の精算要求を受け付けた場合には、前記第1の端末に対して、前記出張の実績情報を送信して、前記第1の端末をして、前記出張の実績情報に基づいた出張費用の精算申請情報の入力を行わせて、送信させるステップと、

前記送信された出張費用の精算申請情報を、出張費用の精算担当者よりアクセス自在に記憶保持するステップと、を含むこと、

を特徴とする出張管理方法。

【請求項2】請求項1に記載の出張管理方法において、前記サーバ装置が、

前記出張手配情報に対する手配状況を、前記第3の端末から受信して、前記第1の端末から閲覧できるよう記憶保持するステップを含むこと、

を特徴とする出張管理方法。

【請求項3】請求項1又は2に記載の出張管理方法において、前記サーバ装置が、

予め定められた間隔で、前記第3の端末から送信された出張の実績情報から、予め定められた項目毎に、出張に要した費用を集計してなる出張実績一覧を出力するステップ、を含むこと、

を特徴とする出張管理方法。

【請求項4】請求項1ないし3いずれか一に記載の出張管理方法において、

前記サーバ装置が、

予め定められた間隔で、前記出張費用の精算申請情報と、前記第3の端末から送信された出張の実績情報と、を照合して、出張費用の未精算一覧を出力するステップ、を含むこと、

を特徴とする出張管理方法。

【請求項5】業務出張を行う者が出張命令申請情報の入力と、該出張費用の精算申請情報の入力と、を行う第1の端末と、前記出張命令申請情報にアクセスして承認処理を行う第2の端末と、少なくとも手配を行った役務の費用情報を含む、出張の実績情報を送信する、出張に関連する役務の手配を行う業者の第3の端末と、前記第1の端末から送られる出張命令申請情報並びに出張費用の精算申請情報と、前記第3の端末から送られる実績情報と、を記憶保持するサーバ装置と、を含んだ出張管理システムにおけるサーバ装置であって、

前記第1の端末を介して、出張上必要となる役務を特定する役務情報を含む出張命令申請情報を受け付けて、前記第2の端末からアクセスできるよう記憶保持する手段と、

前記第2の端末から出張命令申請の承認処理が行われた場合には、前記出張命令申請情報から、前記役務情報を抽出して、出張手配情報として、前記第3の端末に対して送信する手段と、

前記第3の端末から受信した出張の実績情報を記憶保持する手段と、

前記第1の端末を介して、出張者から出張費用の精算要求を受け付けた場合には、前記第1の端末に対して、前記出張の実績情報を送信して、前記第1の端末をして、前記出張の実績情報に基づいた出張費用の精算申請情報の入力を行わせて、送信させる手段と、

前記送信された出張費用の精算申請情報を、出張費用の精算担当者よりアクセス自在に記憶保持する手段と、を含むこと、

を特徴とするサーバ装置。

【請求項6】請求項5に記載のサーバ装置において、前記出張手配情報に対する手配状況を、前記第3の端末から受信して、前記第1の端末から閲覧できるよう記憶保持する手段、を含むこと、

を特徴とするサーバ装置。

【請求項7】請求項5又は6に記載のサーバ装置において、

予め定められた間隔で、前記第3の端末から送信された出張の実績情報から、予め定められた項目毎に、出張に要した費用を集計してなる出張実績一覧を出力する手段、を含むこと、

を特徴とするサーバ装置。

【請求項8】請求項5ないし7いずれか一に記載のサーバ装置において、

予め定められた間隔で、前記出張費用の精算申請情報

と、前記第3の端末から送信された出張の実績情報と、を照合して、出張費用の未精算一覧を出力する手段、を含むこと、を特徴とするサーバ装置。

【請求項9】請求項5ないし8いずれかーに記載のサーバ装置と、業務出張を行う者が出張命令申請情報の入力と、該出張費用の精算申請情報の入力と、を行う第1の端末と、前記出張命令申請情報にアクセスして承認処理を行う第2の端末と、少なくとも手配を行った役務の費用情報を含む、出張の実績情報を送信する、出張に関連する役務の手配を行う業者の第3の端末と、を接続してなる出張管理システム。

【請求項10】業務出張を行う者が出張命令申請情報の入力と、該出張費用の精算申請情報の入力と、を行う第1の端末と、前記出張命令申請情報にアクセスして承認処理を行う第2の端末と、少なくとも手配を行った役務の費用情報を含む、実績情報を送信する、出張に関連する役務の手配を行う業者の出張の第3の端末と、前記第1の端末から送られる出張命令申請情報並びに出張費用の精算申請情報と、前記第3の端末から送られる実績情報と、を記憶保持するサーバ装置と、を含んだ出張管理システムにおけるサーバ装置を構成するコンピュータに実行させるプログラムであって、前記第1の端末を介して、出張上必要となる役務を特定する役務情報を含む出張命令申請情報を受け付けて、前記第2の端末からアクセスできるよう記憶保持する処理と、前記第2の端末から出張命令申請の承認処理が行われた場合には、前記出張命令申請情報から、前記役務情報を抽出して、出張手配情報として、前記第3の端末に対して送信する処理と、前記第3の端末から受信した出張の実績情報を記憶保持する処理と、前記第1の端末を介して、出張者から出張費用の精算要求を受け付けた場合には、前記第1の端末に対して、前記出張の実績情報を送信して、前記第1の端末をして、前記出張の実績情報に基づいた出張費用の精算申請情報の入力を行わせて、送信させる処理と、前記送信された出張費用の精算申請情報を、出張費用の精算担当者よりアクセス自在に記憶保持する処理との、前記各処理を前記コンピュータに実行させるプログラム。

【請求項11】請求項10に記載のプログラムにおいて、前記出張手配情報に対する手配状況を、前記第3の端末から受信して、前記第1の端末から閲覧できるよう記憶保持する処理を、さらに、前記コンピュータに実行させるプログラム。

【請求項12】請求項10又は11に記載のプログラムにおいて、

予め定められた間隔で、前記第3の端末から送信された出張の実績情報から、予め定められた項目毎に、出張に要した費用を集計してなる出張実績一覧を出力する処理を、さらに、前記コンピュータに実行させるプログラム。

【請求項13】請求項10ないし12いずれかーに記載のプログラムにおいて、

10 予め定められた間隔で、前記出張費用の精算申請情報と、前記第3の端末から送信された出張の実績情報と、を照合して、出張費用の未精算一覧を出力する処理を、さらに、前記コンピュータに実行させるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、出張管理方法及びサーバ装置及びシステム並びにプログラムに関し、特に、出張命令申請に含まれる、役務情報の連携を利用した出張管理方法及びサーバ装置及びシステム並びにプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】業務出張を行う従業員等（以下、出張者という）が出張を行う場合、一般に、出張者が、予め出張命令申請を行い、出張に必要な経費の仮払いやチケット等の支給を受けた後、必要な交通機関や宿泊先の予約を行い、旅行会社の窓口、各交通機関の発券窓口やホテルのフロント等で、その都度、個別に費用を支払い、出張が終わった場合には、利用交通機関や利用ホテルの領収書等を経理担当部署に提出して出張精算を申請する方式が採用されている。そして、出張費用の精算担当者が、出張命令申請や提出された領収書等を突合・精査し、各支払いを精算することが行われている。

【0003】上記した方式を採用する場合、その出張に係る費用の精算申請は、精算事務の工数を削減するなどの観点から、精算の必要のある部分のみの精算申請を行い、企業側が別途調達して本人に手渡したチケット代や、本人が費用を立て替えることなく利用した交通手段ないし宿泊施設に係る費用の精算申請は、行われていない、或いは形骸化しているのが実情である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、こうした従来の出張管理方式では、正確な個人毎、セクション毎の出張に関わる費用の把握が困難である。とりわけ、近年の能力主義・実績主義が広く採用されつつある状況下においては、正確な、個人毎、セクション毎のコスト・パフォーマンスを算出する要請があり、このためには、各個人、セクションが上げた収益だけでなく費用の把握が必要となる。

50 【0005】ところで、情報通信技術の発展、各種イン

フラの整備に伴って、出張する側と、出張に係るサービス（役務）を提供する側の情報システムを接続して、出張に係る費用の自動予約や自動精算を行わせる情報システムが多数提案されている。例えば、特開平11-229254号公報には、企業内のネットワークと旅行業者等のネットワークを相互接続して、業務出張支援システムを構成し、企業の出張者が、所定の出張命令申請情報を入力すると、出張予定者の入力情報に基づいて適当な旅程を自動構成し、前記旅程を含んだ出張命令申請書を作成し、企業側の承認者が承認を行った後、前記旅程に基づいて前記旅行業者等に各種手配を依頼可能とし、その後、出張費用は自動決済処理を可能とする業務出張支援システムが紹介されている。しかしながら、こうした公報等に記載された情報システムは、いずれも、出張に伴う各種サービスの予約、精算を中心とした事務手続の効率化、本人の出費負担の解消を目的としたものであり、先に述べた各個人が立て替えることなく受け取ったサービスや精算の必要が無いサービスについては、取扱い対象となっていない、或いは、これを除外する方向で設計がなされている。

【0006】従って、本発明が解決しようとする課題は、業務出張において発生する費用を、出張者の立て替え行為の有無に関わらず、その全体の把握を可能とする出張管理方法及び装置及びシステム並びにプログラムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するための手段を提供する本発明の第1の視点によれば、業務出張を行う者が出張命令申請情報の入力と、該出張費用の精算申請情報の入力と、を行う第1の端末と、前記出張命令申請情報にアクセスして承認処理を行う第2の端末と、出張に関連する役務の手配を行う業者の第3の端末と、前記第1の端末から送られる出張命令申請情報並びに出張費用の精算申請情報と、前記第3の端末から送られる実績情報とを記憶保持するサーバ装置と、を含んだ出張管理システムにおける出張の管理方法であって、前記サーバ装置が、前記第1の端末を介して、出張上必要となる役務情報を含む出張命令申請情報を受け付けて、前記第2の端末からアクセスできるよう記憶保持するステップと、前記第2の端末から出張命令申請の承認処理が行われた場合には、前記出張命令申請情報から、前記役務情報を抽出して、出張手配情報として、前記第3の端末に対して送信するステップと、前記第3の端末が、前記サーバ装置に対して、少なくとも手配を行った役務の費用情報を含む出張の実績情報を送信するステップと、前記サーバ装置が、前記出張の実績情報を記憶保持するステップと、前記第1の端末を介して、出張者からの出張費用の精算要求が行われた場合には、前記第1の端末に対して、前記出張の実績情報を送信して、前記第1の端末をして、前記出張の実績情報に基づいた出張費

用の精算申請情報の入力を行わせて、送信させるステップと、前記送信された出張費用の精算申請情報を、出張費用の精算担当者よりアクセス自在に記憶保持するステップと、を含むこと、を特徴とする出張管理方法が提供される。

【0008】また、前記出張管理方法において、前記サーバ装置が、前記出張手配情報に対する手配状況を、前記第3の端末から受信して、前記第1の端末から閲覧できるように記憶保持するステップを、含めることも好ましい。

【0009】もちろん、上記した各出張管理方法において、前記サーバ装置が、予め定められた間隔で、前記第3の端末から送信された出張の実績情報から、予め定められた項目毎に、出張に要した費用を集計してなる出張実績一覧を出力するステップ、を含めるようにしてもよい。

【0010】また、上記した各出張管理方法において、前記サーバ装置が、予め定められた間隔で、前記出張費用の精算申請情報と、前記第3の端末から送信された出張の実績情報と、を照合して、出張費用の未精算一覧を出力するステップ、を含めて、精算処理が滞っている案件を抽出して、爾後の処理を促すとともに出張の実績情報に含まれる費用のすべてを把握できるようにすることも、好ましい変形である。

【0011】また、本発明の第2の視点によれば、前記各方法を実施するためのサーバ装置、システム並びにプログラムが提供される。

【0012】

【発明の実施の形態】続いて、本発明の一実施の形態について説明する。本発明に係る出張管理システムは、その好ましい実施の形態において、出張命令申請並びに出張費用の精算申請を行う出張者の端末（図1の10）と、出張命令申請の承認処理を行う承認者の端末（図1の20）と、予め出張に関する手配の代行について契約をなした旅行代理業者の端末（図1の30）と、記憶部（図1の41）を備えて前記各端末に対して出張管理サービスを提供する出張管理サーバ（図1の40）と、から構成される。

【0013】出張管理サーバ（図1の40）は、承認がなされた出張命令申請情報から、出張上必要となる役務を特定する役務情報を抽出して、出張手配情報として旅行代理業者の端末（図1の30）に対して送信する手段（出張手配依頼機能）と、出張費用の精算申請を行う際に、旅行代理業者の端末（図1の30）から予め送信されて、出張管理サーバ（図1の40）の記憶部（図1の41）に記憶保持された出張実績情報を出張者の端末（図1の10）に送信して、前記出張実績情報を基に出張費用の精算申請を行わせる手段（精算申請入力支援機能）と、前記出張実績情報のうち出張費用の精算申請処理が行われていない未処理データを一覧出力し、又は、

前記出張費用の精算申請情報を、出張者の属性等の予め
定めた集計キーに基づいて集計管理する手段(管理支援
機能)と、を備えている。

【0014】承認者の端末(図1の20)は、出張管理
サーバ(図1の40)の記憶部(図1の41)に記憶保
持された出張命令申請情報にアクセスして、承認処理を
行う手段を備えている。

【0015】旅行代理業者の端末(図1の30)は、出
張管理サーバから送信された出張手配情報に基づいた手
配の結果(少なくとも各役務についての費用情報を含む)を出張実績情報として送信する手段(実績報告機
能)を備えている。

【0016】そして、出張者が出張者の端末(図1の1
0)から、出張管理サーバ(図1の40)にアクセスし
て、出張に必要な役務情報を含んだ出張命令申請の登録
を行い、承認者がこれを承認者の端末(図1の20)を
介して承認処理を行うことで、出張管理サーバ(図1の
40)により出張手配情報の送信が行われる。

【0017】旅行代理業者側で、前記出張手配情報に含
まれる交通手段や宿泊施設等の出張の手配が行われ、手
配手続が完了すると、旅行代理業者の端末(図1の3
0)は、前記手配を行った各役務についての費用の情報
を含んだ出張実績情報を出張管理サーバ(図1の40)
に対して送信する。

【0018】出張費用の精算の場面においては、出張費
用の精算申請情報の入力を行う際に、出張者は、出張管
理サーバ(図1の40)から自己の操作する端末(図1
の10)に前記出張実績情報を取り込むことにより、出
張費用の精算申請を行う。

【0019】このようにして、当初の出張命令申請に入
力された役務についての出張の手配が行われ、その手配
結果(出張実績情報)には、各役務について費用の情報
が含まれることとなる。そして、出張費用の精算におい
ては、出張者の出張費用の立て替え行為の有無に関わり
なく、該出張実績情報を出張者端末(図1の10)に取
り込んだ上での出張費用の精算申請が行われる。即ち、
立て替え行為が存在しない場合であっても、出張費用の
精算申請時には、必ず申請しなければならない枠組みが
確立される。

【0020】従って、本発明の出張管理サーバ(図1の
40)の記憶部(図1の41)に記憶保持された出張費
用の精算申請情報は、各出張に要した費用すべてが計上
されていることとなる。そしてこれを、個人、部署毎
に、集計することで、出張費に要したコストの一元的な
把握が可能となる。

【0021】また、本発明の別の実施の形態において、
出張管理サーバ(図1の40)は、旅行代理業者の端末
(図1の30)から出張実績情報が報告されているにも
関わらず、出張費用の精算申請情報において登録されて
いないものを、未処理出張実績一覧として出力する。該

一覧は、出張費用の精算申請の登録の状況管理に用いる
ことができるのはもちろんであるが、特に、立て替え行
為が存在しないために、出張費用の精算の際に、入力さ
れなかった費用項目の検出に利用できる。

【0022】なお、上記した出張管理サーバ(図1の4
0)における各機能は、出張管理サーバ(図1の40)
を構成するコンピュータで実行されるプログラムにより
その処理、機能が実現される。

【0023】

【実施例】続いて、本発明の一実施例について、図面を
参照して詳細に説明する。図1は本発明の出張管理シ
ステムの全体構成と処理の流れを示す概略図である。図1
を参照すると、本実施例のシステムは、業務出張を申請
する出張者の端末10と、前記出張命令申請を承認すべ
き承認者の端末20と、交通手段並びに宿泊施設等の手
配を行う旅行代理業者の端末30と、出張命令申請並び
に出張費用の精算申請に係る情報と、旅行代理業者の端
末30から送られる実績情報とを記憶保持して出張者の
出張の管理を行う出張管理サーバ40と、を接続して構
成される。

【0024】出張者の端末10、承認者の端末20は、
特に限定するものではないが、パーソナル・コンピュ
ータ(PC; Personal Computer)、P
DA(Personal Digital Assis
tant)、携帯電話機等の情報処理端末である。また、
出張管理サーバ40への接続形態も、LAN(L
ocal Area Network)、インターネ
ット、無線網等、特に限定されるものではない。なお、図
1には、説明の便宜のため、出張者の端末10並びに承
認者の端末20をそれぞれ別の情報処理端末として記載
しているが、出張者の端末10並びに承認者の端末20
は、所望のユーザ認証手段を設けた1台の情報処理端末
を共用することも可能である。

【0025】旅行代理業者の端末30も、同様に、特に
限定するものではないが、本実施例においては、旅行代
理業者の業務システムに接続された端末であるものとし
て説明する。また、同様に旅行代理業者の端末30の出
張管理サーバ40への接続形態も、LAN、インターネ
ット、無線網等、特に限定されるものではない。

【0026】出張管理サーバ40は、記憶部41を備
え、クライアントとしての出張者の端末10、承認者の
端末20並びに旅行代理業者の端末30から要求を受け
付けて、そのアクセス権限に応じたサービスの提供を行
うサーバである。

【0027】図2は、出張者が、本システムを利用し
て、出張命令の申請を行い、出張後にその精算申請を行
い、前記精算の結果が出張管理サーバ40の記憶部41
に登録されるまでの流れの一例を示すフローチャートで
ある。以下、本実施例の作用を、図2に従って、適宜、
図3ないし図11の補助図面を参照しながら、詳細に説

明する。

【0028】図2を参照すると、まず、業務出張を行う必要が生じた出張者から操作を受けた出張者端末10は、出張管理サーバ40にアクセスして、出張命令申請情報を入力して登録要求を行い、記憶部41に登録させる(ステップS001)。図3は、その際に、出張者の端末10において表示される出張命令申請入力画面の一例である。図3に示された画面に従って、出張者が、出張目的、仮払請求額、出張に係る役務を特定する役務情報(出張目的地までの交通手段・宿泊場所等)を入力し、登録ボタンを起動することで、出張管理サーバに対する出張命令申請情報の登録要求がなされる。該出張命令申請情報は、本実施例では、社員番号と、出張管理サーバ40側で採番された申請番号により、出張命令申請情報を特定する方式を採用している。社員番号は、出張者端末10を使用する際のアクセス認証時に用いられる従業員IDカード等により自動取得することとすることが好ましいが、もちろん、出張者が手入力を行う方式を採ってもよい。

【0029】続いて、該出張者の出張命令申請に対して承認権限を有する者が、承認者の端末20を介して、出張管理サーバ40に対して出張命令申請情報へのアクセスを要求し、出張命令申請情報の精査を行った後、承認処理を行う(ステップS002)。図4は、承認処理の際に、出張管理サーバ40から提供される出張命令申請承認画面の一例である。前記承認処理の方法は、特に限定するものではないが、例えば、出張命令申請情報に含まれる承認フラグを更新することによって行われる。

【0030】続いて、出張管理サーバ40は、前記承認処理がなされた出張命令申請情報から、出張の交通手段、宿泊先に係る情報を抽出して、出張手配情報として、旅行代理業者の端末30に対して送信する(ステップS003)。前記出張手配情報を受信した旅行代理業者の端末30は、旅行代理業者の業務システムの予約装置にアクセスして、チケットの発券・デリバリー手配・宿泊先の予約等の手配を実施し、前記手配の状況を示す手配状況情報を生成して、出張管理サーバ40に対して送信する(ステップS004)。図5は、出張管理サーバ40から送信される出張手配情報と、前記手配状況情報とを対応させた図である。図5を参照すると、出張手配情報において要求された内容に応じた交通機関並びに宿泊施設の手配がなされている。前記手配状況情報は、出張管理サーバ40の記憶部41に、出張者の端末10や承認者の端末20から閲覧できるよう記憶保持される。爾後、出張者は、出張の前に、出張管理サーバ40にアクセスして、予め自らの出張命令申請に対応する交通手段、宿泊場所の手配状況を取得できる。もちろん、社員番号に対応する連絡先(メールアドレス等)が、予め通知されている場合には、該連絡先に対して、旅行代理業者の端末30が前記手配状況情報を直接送信する形

態を採ってもよいし、旅行代理業者側に前記手配状況情報の閲覧・手配変更申請を行うWEBサイトを設置する形態を採ってもよい。

【0031】続いて、旅行代理業者の端末30は、申請番号と社員番号の組み合わせで特定される一の出張手配情報に含まれるすべての役務の手配完了、定時報告方式による予め定めた日時の到来、出張管理サーバ40からの要求受信等、予め定められたイベントが発生した場合に、出張手配情報のうち手配処理が完了した部分を抽出して、出張管理サーバ40に対して、出張の実績情報として送信する(ステップS005)。図6は、上記した、出張の実績情報の一例を示す図である。図6を参照すると、出張の実績情報には、各手配事項の内容(申請番号、社員番号、日付、経路/宿泊希望地、出発時刻・便名/宿泊場所、金額、備考)と、その状態(STATUS)とが含まれている。

【0032】このようにして、登録される出張命令申請に対する実績情報が、逐次、出張管理サーバ40の記憶部41に蓄積される。

【0033】続いて、出張者が、出張中ないし出張後、出張費用の精算申請を行う場合には、以下の処理が行われる。まず、出張者から操作を受けた出張者の端末10は、出張管理サーバ40にアクセスして、出張費用の精算申請の基礎データとなる出張の実績情報を要求する(ステップS006)。これに応じて、出張管理サーバ40は、出張の実績情報のうち、費用の精算申請が未処理であるものを、出張者の端末10に対して送信する(ステップS007)。図7は、出張者の端末10において表示される出張費用の精算申請画面の一例を示す図である。本画面で、「実績データ取込」ボタンを起動させると、出張管理サーバ40に対する出張の実績情報のうち出張費用の精算申請が未処理であるデータの送信要求が、出張管理サーバ40に対して、送信される。図8は、出張管理サーバ40から送信される費用の精算が未処理である出張の実績情報一覧の一例を示す図である。出張者が、該一覧から自己の出張に対応する実績情報を選択すると、該実績情報が、図6の画面に取り込まれる。図9は、上記処理により出張の実績情報が取り込まれた状態の出張申請画面の一例を示す図である。図9を参照すると、出張に係る費用内訳が取り込まれており、出張者自身による入力作業が大きく省力化されている。また、実績ベースで実績情報が作成されているため、出張費用の精算申請情報の入力間違いや本人の記憶違いによる誤申請が生じる恐れも少ないものとなっている。

【0034】そして、出張者は、取り込んだ出張の実績情報に含まれない現地費用等についてのみ、入力を行い、確定ボタンを起動することで、出張管理サーバ40の記憶部41に対する出張費用の精算申請情報の登録処理が行われるとともに、前記実績情報は、精算処理済みである旨の更新が行われる(ステップS008)。

【0035】爾後、経理上の締切日等の到来に応じて、出張費用の精算担当者は、出張管理サーバにアクセス又は直接操作する等して、出張費用の精算事務を行う（ステップS009）。この場合において、旅行代理業者により実績情報の提供があった部分については、領収書等の照合作業を省略する等の合理的な運用が可能となる。

【0036】また、企業等の管理者は、出張管理サーバにアクセス又は直接操作して、集計処理を行わせることで、各出張毎の正味ベースでの出張費用の把握を行うことが可能となる（ステップS009）。図10は、企業の管理者等が、出張管理サーバ40においてなされる、正味ベースでの出張費用を把握するための集計処理により出力される帳票の一例である。図10を参照すると、出張費用申請情報に含まれる社員コードと、図示しない社員データベースとを関連付けした後、所属部署コード等を集計キーとして集計することにより得られた、各課、部、事業部毎の正味の出張費用が出力されている。こうした集計額は、旅行代理業者から送られる実績情報を基礎としているため、出張者の立て替え行為が存在しないことにより従来では個別の把握が困難であった費用が、それぞれ実際に使用した者の所属部署の集計額に含まれたものとなっている。もちろん、集計キー項目を変更することで、各個人の年間／半期といった期間の出張費用総額を把握することも可能である。

【0037】このようにして得られる出張費用の集計値は、予算の適正配分のための資料や従業員並びに組織のコスト・パフォーマンスを計る数値として利用できる。また、出張の内訳（目的地別、交通機関別等）を集計・分析することによって、旅行代理業者が案内する各種交通機関、宿泊施設の割引料金プランの中から、より好ましい選択をすることや、より出張の実態にかなった契約内容の締結が可能となる。

【0038】また、出張管理サーバ40に、前記出張費用の精算申請情報と、前記出張の実績情報とを、照合させ、実績情報が存在するにも関わらず、出張費用の精算申請がなされていないデータ一覧を出力させる処理を行わせてもよい。図11は、こうした出張費用の精算申請の未処理データ一覧の一例である。図11を参照すると出張後、一月以上経過したにも関わらず、費用の精算申請がなされていない「社員番号：002345申請番号：002」が未処理データとして残されている。このような場合、たとえ、立て替え行為が存在しないことにより出張者に対する精算すべき額が無い場合であっても、精算申請登録を行わせることで、上記した集計表等に当該出張費用の全体額を反映させることが可能となる。

【0039】なお、上記した実施例のステップS006、ステップS007では、出張管理サーバ40が、実績情報のうち費用の精算が未処理であるものの一覧を送信し、出張者が、前記一覧から自己の出張に対応する実

績情報を選択する方式を採用したが、ステップS006の出張費用の精算要求の際に出張者が、出張者の端末10を介して申請番号を送信し、出張管理サーバ40は、前記申請番号と、出張者の社員コードをキーとして対応するデータのみを送信するものとして、出張者に出張の実績情報のうち未処理であるものの一覧から自己の出張に対応するデータを探索させる手間を省くこととしてもよい。

【0040】また、出張費用の精算における現金の移動量、又は、事務手続工数を極力削減する観点からは、2以上の出張に係る費用の精算処理をまとめて処理できるよう、上記した出張費用の精算画面を変形することも好ましい。この場合には、複数の出張にまたがる仮払金の超過・不足分を相殺することで、出張費用の把握機能を損なうことなく、出張費用の精算における現金支払いの手間を省力化することが可能となる。

【0041】なお、本発明は、従業員データベース等の出張者の属性情報や、交通機関・宿泊施設の割引情報にアクセスする手段と、前記各情報に基づいて、より好ましい出張旅程を作成する手段と、を備える形態を排除するものではない。このような手段を備えた場合には、出張者の住所地を考慮した最短ルートの設定や各種割引制度の利用により実現できる結果が、出張費用として把握される。

【0042】また、上記した実施例においては、特に限定していないが、出張管理サーバ40にWWW（World Wide Web）サービスの提供手段を備えることも好ましい。この場合には、出張管理サーバ40が、出張者の端末10に対して旅行代理業者、交通機関、宿泊施設提供者の運営する他のWWWサーバから得られる予約状況コンテンツを提供する等、幅広い拡張性が実現される。

【0043】

【発明の効果】本発明によれば、出張費用の立て替え行為の有無に関わらず、各出張に要した費用のすべてを把握をすることが可能となる。その理由は、出張命令申請に対応して得られる出張実績情報を連携させて、出張者が立て替えない出張費用についても、出張精算の際に簡便に申請することができるよう構成したことにある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の出張管理システムの全体構成と処理の流れを示す概略図である。

【図2】出張者が、本システムを利用して、出張の申請を行い、出張後にその精算申請を行い、前記精算の結果が出張管理サーバの記憶部に登録されるまでの流れの一例を示すフローチャートである。

【図3】出張管理サーバへの出張命令申請登録の際に、出張管理サーバから提供される出張命令申請入力画面の一例を示す図である。

【図4】承認処理の際に、出張管理サーバから提供され

る出張命令申請承認画面の一例を示す図である。

【図5】出張管理サーバから送信される出張手配情報と、旅行代理業者の端末から送信される手配結果情報を対応させた図である。

【図6】出張の実績情報の一例を示す図である。

【図7】出張費用の精算申請画面の一例を示す図である。

【図8】出張管理サーバから送信される費用の精算が未処理である出張の実績情報一覧の一例を示す図である。

【図9】出張の実績情報取込処理により出張の実績情報が取り込まれた状態の出張申請画面の一例を示す図であ

る。

【図10】出張管理サーバにおいてなされる、集計処理により出力される帳票の一例である。

【図11】出張管理サーバにより出力される出張費用の精算申請の未処理データ一覧の一例である。

【符号の説明】

10 出張者の端末

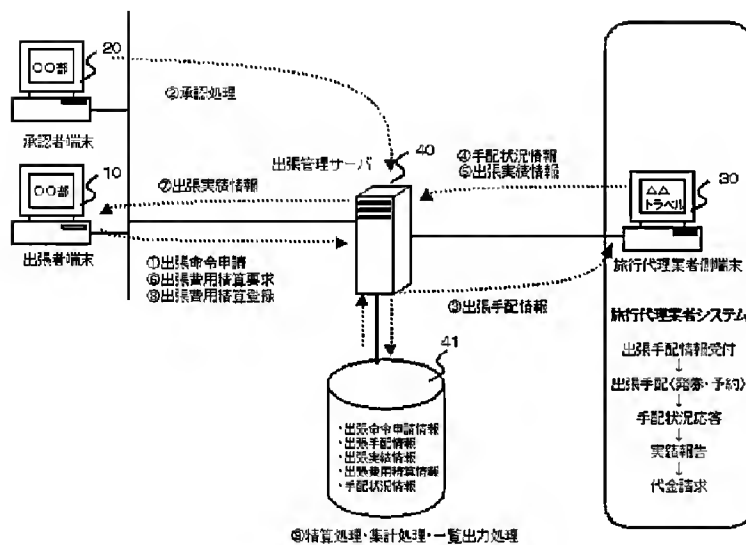
20 承認者の端末

30 旅行代理業者の端末

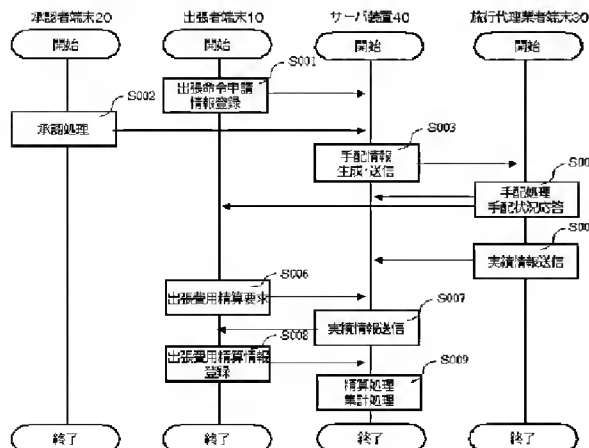
40 出張管理サーバ

41 記憶部

【図1】



【図2】



【図3】

◎出張命令申請			
社員番号	氏名	部署	申請番号
0001234	〇〇 〇〇	AAA部BBB部CC1課	001
出張目的			
新製品説明会(京橋〇〇ホール)			
仮払請求額			
10,000円			
交通・宿泊手配情報			
日付	経路/宿泊先	出発希望時刻/宿泊期間	備考
2001/10/1	東京-新大阪	9:00発	指定席・禁煙
2001/10/2	新大阪-東京	19:00発	自由席
2001/10/1	大阪(京橋近辺)	1泊	シングル・エコノミー

【図4】

◎出張命令承認

社員番号 氏名 部署 申請番号
0001234 ○○ ○○ AAA事BBB部CC1課 001

出張目的

仮払請求額

交通・宿泊手配情報

日付	経路/宿泊先	出発希望時刻/宿泊期間	備考
2001/10/1	東京-新大阪	9:00発	指定席・禁煙
2001/10/2	新大阪-東京	19:00発	自由席
2001/10/1	大阪(京橋近辺)	1泊	シングル・エコノミー

【図5】

出張手配情報

社員番号: 0001234 申請番号: 001

日付	経路/宿泊希望地	出発希望時刻/宿泊期間	備考
2001/10/1	東京-新大阪	9:00発	指定席・禁煙
2001/10/2	新大阪-東京	19:00発	自由席
2001/10/1	大阪(京橋近辺)	1泊	シングル・エコノミー

↓

旅行代理業者システム

↓

手配決定情報

社員番号: 0001234 申請番号: 001

日付	経路/宿泊希望地	出発時刻・便名/宿泊先	金額	備考
2001/10/1	東京-新大阪	9:15発 ひかり101	13,550円	指定席・禁煙
2001/10/2	新大阪-東京	19:17発 こたま201	13,240円	自由席
2001/10/1	大阪(京橋近辺)	ホテル●● シングル1泊	6,000円	19:00チェックイン

【図6】

出張実績情報 2001/9/14 13:00

社員番号	申請番号	日付	経路/宿泊希望地	出発時刻・便名/宿泊場所	金額	備考	STATUS
0001234	001	2001/10/1	東京-新大阪	9:15発 ひかり101	13,550円	指定席・禁煙	予約済
0001234	001	2001/10/2	新大阪-東京	19:00発 こたま201	13,240円	指定席	予約済
0001234	001	2001/10/1	大阪(京橋近辺)	ホテル●● シングル1泊	6,000円	19:00チェックイン	予約済
0005678	003	2001/10/4	東京-名古屋	15:30発 ひかり	13,280円	指定席	予約済

【図7】

◎出張精算申請

社員番号 氏名 申請番号
0001234 ○○ ○○ 001

出張目的

仮払請求額

交通・宿泊手配情報

日付	経路/宿泊先	金額	備考

【図8】

承認済出張実績データ一覧 2001/10/3 13:00

社員番号	申請番号	日付	経路/宿泊希望地	出発時刻・便名/宿泊先	金額	備考	STATUS
0001234	001	2001/10/1	東京-新大阪	9:15発 ひかり101	13,550円	指定席・禁煙	予約済
0001234	001	2001/10/2	新大阪-東京	19:00発 こたま201	13,240円	指定席	予約済
0001234	001	2001/10/1	大阪(京橋近辺)	ホテル●● シングル1泊	6,000円	19:00チェックイン	予約済
0002345	002	2001/9/10	東京(有明)-北海道	11:00発 ABC123便	28,500円	一般料金	予約済
0003456	002	2001/9/12	東京(有明)-北海道	15:00発 DEF456便	28,500円	一般料金	予約済
0002345	002	2001/9/10	北海道(札幌)	△△ホテル シングル2泊	18,000円	20:00チェックイン	予約済

【図9】

◎出張精算申請

社員番号 氏名 部署
0001234 ○○ ○○ AAA事BBB部CC1課

申請番号 001

出張目的

仮払請求額

交通・宿泊手配情報

日付	経路/宿泊先	金額	備考
東京-新大阪	9:15発 ひかり101	13,550円	指定席・禁煙
新大阪-東京	19:00発 こたま201	13,240円	指定席
大阪(京橋近辺)	ホテル●● シングル1泊	6,000円	19:00チェックイン

【図10】

出張費用データ集計表				2001/1/01～2001/12/31
事業部	部	課	金額	
AAA	BBB	CC1課		300,000円
AAA	BBB	CC2課		200,000円
AAA	BBB	CC3課		320,000円
	BBB部 計			820,000円
AAA	DDDD	EE課		100,000円
AAA	DDDD	FF課		1,200,000円
	DDDD部 計			1,300,000円
AAA事業部 計				2,120,000円
XXX	YYYY室	ZZZグループ		30,000円
XXX	YYYY室	ZZZグループ		120,000円

【図11】

米越野山渡来船データ表								2001/10/31
社員番号	船名	日付	経路/宿泊希望地	出発時刻/係名	金額	備考	STATUS	
0002345	002	2001/05/10	東京(羽田)→北海道	11:00発 ABC123便	20,500円	一般料金	デリバリー済	
0002345	002	2001/05/12	東京(羽田)→北海道	15:00発 DEF345便	20,500円	一般料金	デリバリー済	
0002345	002	2001/05/10	北海道(札幌)	△△ホテル シングル2泊	18,000円	20,000円チェックイン	デレキング済	
0009999	004	2001/10/15	東京→米原	12:15発 ひかり111	11,840円	自由席	デリバリー済	
0009999	004	2001/10/15	米原→東京	13:00発 こだま301	11,550円	自由席	デリバリー済	
0001234	005	2001/11/01	関西空港→新大阪	関西空港線	1,300円		デレキング済	